明治四十三年 月廿四日 第三百六十四號 (一)

京城新報

明治四十三年 旧元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金壱圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢 月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雑報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

人の一生は重き荷を負ふて遠き路を行くが如し急ぐ可からず

雜報

清津港の近況

(五)雜貨物の各地に於ける消費割合は各沿岸及外國より移入及輸入する貨物の重なるもの左の如し

シーチング、陶器、晒金巾、砂糖及び精鹽、日本木綿、

以上貨物の消費割合は間島地方三分五厘淸津及羅南地方三分五厘淸津及羅南地方三分とす小麥粉の消費割合は淸津七分羅南三分とす

其他の貨物消費割合は羅南四分淸津三分會寧二分鏡城一分とす

松本理事官の談

(木浦紙淸會に於て)

▲多産なる全南 全南の耕地は二十五萬餘町歩(田十八萬町歩、畑七萬町歩)ありて恢是我起後に相當し猶十餘萬町歩の未墾地を有し田美國があり米は淳山出來る肥料を用ひずして耕作する目今に於ても平年産額の石八十餘萬石に達す麥も出來る豆も出來る菜も出來る何でも出來ぬものはない其出來る物は皆上等である中にも最も驚嘆に適し又棉花の特産地である昨年の産額は約二千万斤に達し木浦の海岸は棉花の山を築いた耕地は次第に增加し種子は改良せられ益好成績を擧げつゝあるから遠からず我母國の紡績材料は殆んど此地より供給することが出來る予は畑も島も殖らず桑田と棉花園に成る事を以て居る海に於ては大小一千餘の島嶼を有し好漁場は到處に在りて水産物は無盡藏である庵羅農商工部水産課長の談に依は角類は夥しく群集し石首魚の群集せる場所にては船底に群を鳴驚する如くとても就眠することが出來ぬとのことである之は一例に過ぎぬが魚類の非常に多く集生して居ることを證するものである又海藻類の豐富なるにも驚くべき要するに幾億萬無限の利源は此多島海の海底に累々山積して居るのである。斯の如く全南の海陸は大富源地である全韓第一位の産業地である然るに之迄は交通の便なく海陸の連絡なかりし爲に斯る大富源も「デッド レッター」せられて居たものである。

▲大發展の機運 多年宿望已まざりし湖南線道敷設豫算案は貴衆兩院を通過せり湖南線道は京釜線道の太田駅より全韓第一位の農産地を縱貫して木浦に達し無盡藏の水産源を連絡することに爲りたるを以て此大富源は開發せらるゝことに爲り發展の機運は來たのである。

▲千客萬來 全南八百二十一方里には韓人が百四十五萬人在住し日本人は交通の不便なるに因り活働が出來難かり爲に之迄は僅に七千餘人許り入込んで居たが今度愈々線道が懸ることになりて海陸大發展の機運に際會したるが故に千客萬來彈山入り來るに相違ない又入り來らねばならぬ陸も廣ければ島も淳山ある幾人入り來るも之を養ふ餘地は十分に在る暴徒は滅盡し海陸の警備は十分に付て居るから大丈夫である

▲木浦の價値 全南は韓國西南端に突出して日本及支那に面し木浦は其突角に在りて海は深く風波の難はなく幾多の巨艦大船も自由に繫留し得べく眞に天然の良港である此良港が大富源地海陸連絡の唯一の要點に在りて湖南線道の南端停車場の設置せらるゝ處である予は嘗て木浦は將來韓國三大港の一爲るべきことを稱へたることあり湖南線道を敷設すると海陸産物は山の如く集り日本支那及其他外國と貿易を爲す全韓最も便利なる要所であるから大發展を爲して大商港と爲るべきは期して待つべきである。

最近金巾の輸入(一)

昨年中韓國に輸入された左金巾、晒金巾「シーチング」の價額如左(單位圓)

	生金巾	シーチング	晒金巾
日本産	三、〇四四	一、七七、一三七	六、三四一
英國産	一、三〇、〇〇一	一、七七、一三七	六、六八〇、七七
支那産	一、五四六	三、九五六	三、九五六
合計	一、三三、〇〇九	一、四五三、六九八	二、四二八、五七七

前表に依れば日本より輸入するもの〜殆んど全部は「シーチング」にして「晒金巾」は「シーチング」に比して輸入少し於て通常和金巾と稱するものの之れなり其他例年僅少の生金巾、晒金巾等の輸入を見ると雖も是れ恐らくは日本經由英米産品が日本品として輸入せらるゝものなるべし而して該和金巾の過去に於ける狀況を見るに明治二十七年輸入開始の當時は其額僅かに二萬一千餘圓に過ぎざりしが同三十二年には二十八万二千餘圓同四十二年には百八萬二千餘圓同四十二年には百七十七萬九千餘圓に增加したり

碧蹄館行き

(一) 伊藤之守

こゝ一年餘りと云ふものは妙に引籠り屋となつて京城の土地を距れて旅行したことがない、尤も汽車に乘つて飛脚的一夜旅び位ひは爲たが一里と纏まつた道は歩いた事はない、大方毎日編輯局の一隅に陣取つて紙屑理に埋れて居る、五體は追々肥滿するがドウも本當でない運動不充分と云ふ證據が段々と現れて來る、此儘で今一年も過ごしたら碌な身体にはならぬ、氣候も大分宜くなつたチト野外運動でも試みようと思つて居る折柄、統監府の先生達が廿一日の日曜を利用して碧蹄里に遠足を試み館内で史學專門で聞へた廣田文學士の戰爭談しがあると云ふ事でコリ

日本銘刀傳

第七十三席 邑井一講演

丁度三日目の晩に客人たちや、勘「此ッ方へ御當家の御主人、何御用で」勘「ハテ何かこがいなすか」藤「外ちやアねわが、俺が處に土地の若い者が大勢集まつて、賭博を始めるのだ、勝負事と云ふものは淨かにやる筈なのに、はがやく氣が乘つて來ると騒ぎ出すから、其處丈けは承知して居て呉んねね」勘「エー夫りやア宜うございます」と云ふのは自分達も、夫れは好き於か今夜はれ朝方少し氣の毒なことがある勘「ハテ何かこがいなすか」藤「外ちやアねわが、俺が處に土地の若い者が大勢集まつて、賭博を始めるのだ、勝負事と云ふものは淨かにやる筈なのに、はがやく氣が乘つて來ると騒ぎ出すから、其處丈けは承知して居て呉んねね」勘「エー夫りやア宜うございます」と云ふのは自分達も、夫れは好き於か

一件者てへな 甲「エー眞實に分らねね……夫れ手前に先日貸した金を返せと云ふんだ」乙「何だ……俺が手前に何日金を借りた」甲「貸したおやアねわが手前に……」乙「馬鹿云へ借りるものか」甲「イヤ貸した」乙「ナニ貸うねね」甲「ナニー」乙「ナニー」と互に手を出しやつたから遂に喧嘩が始まつた、ドタンバタン兩手組打をして居たが「止せ〜」と大勢の者が取押へる風をして、がや〜〜と突然堤下の勘太、藤訪の五郎藏高島の早太、勘太の乾兒の唉藏と三郎の五人の居る部屋へドカ〜〜つと這入つて來た、五人の者は何事かと思つて互ひに顏を見合して 勘「夫れはれ賊居るど、実如大勢して五人の者へ縄を掛けやうとする「何をするんだ」と五人が立上がらうとするのを大勢して無なく縄を掛けてしまつた、五人は唖然いて居る所へ出て來た天狗の藤太「ヤイ〜〜手前達能く承はれ、外でもねね俺は祐眞祐實兩人に頼まれて汝等を欺したのよ 三「ナニ 天「ナニも驚もあるものか、能く考へて見よ、人間の皮を被つて惡黨を助けて善人を苦しめることが出來るか何うか、汝、三郎とか云ふ奴は祐實を殺したに違ひあるめね俺やアは祐眞祐實兩人に頼まれて汝等を欺し此土地の刀鍛冶に頼まれて、祐廣の子が親の仇敵を討ちたいと云ふ神妙な心に動かされて、手前達を誘き寄せやうと思つて流言の策を施したのを手前達が知らずに引掛つて此處まで來たのが運の盡き、もう協はねね所と觀念しろい」堤下の勘太は口惜しさうに歯を切しばつて勘「夫れぢやまつたく手前の計略に陷つたのか、思へば〜殘念だな」藤訪の五郎も「エヽ夫んなら却つて計略に陷つたのか、殘念だ〜」今更何うすることも出來ない、祐眞祐實廣光の三人も眞「こりやア天狗の親方さんのお蔭で難有うございました、ヤイ惡黨三郎能くも祐廣を殺した、俺と間違へて祐廣を殺しやアがつて何と云ふ無法極まる奴だ、是れから手前達を籠に乘せて鎌倉へ送るんだ 實「能くも父を殺したな」と涙をハラ〜〜と落す其夜は三郎を始め四人の者等を一室に縛し置いたが、三郎は遂に免れることの出來ないと知つたので美事に舌を噛切つて死んで居たのを翌朝になつて發見した、今は是迄なりと祐實は三郎の首を斬つて鎌倉へ持歸つて父の墓前に手向けました、堤下の勘太、藤訪の五郎藏、高島の早太、唉藏の四人の縛めを解いて祐眞より金を五兩宛渡し、全〜三郎の惡人にして祐實の親を殺したことを詳しく話し懇々諭しましたので流石の惡人も肝膽の三郎が死んで居ないのだから張合もなく、五兩の金を貰つてスゴ〜〜立歸つた、天狗の藤太へは金を五十兩と祐眞祐實兩人にて打上げた刀と一本贈り天狗の藤太乾兒にも夫れ〜禮をして祐實仇討も日出度本懷を遂したのでございます、其後祐實は沒して祐實は益繁昌して正宗以來の鎌倉鍛冶の名前を落さなかつたのでございます

廣告

工事請負入札

一民團立學校職員舍宅新設工事十三戸
此入札保證金見積價格百分の五以上入札者は滿二年以來斯業に從事するものに限る
右請負希望の者は當民團役所に就き入札規則契約書案仕様書繪圖及現場等熟覽の上來る三月廿四日午前十一時限り入札書を當役所に差出すべし即時開札す
明治四十三年三月廿日
此契約は當民團民長古城管堂擔當す

京城居留民團役所

電話一一八二番

やちち

京城曙町

大槻商行質部

金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す

流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

生徒左の所に移轉し

法律事務の御依囑に應ず

京城南部大坪坊寫字廳洞三統三戸
(大韓天一銀行北側東入)

前判事 田中圭三
辯護士

神戸資生分院

◎花柳病專門並に痔(注射療法)

京城梅毒病院

京城相生町(南門湯横)

●入院隨意

(電話一二九四)

院長 醫學博士 盧田齊平

内科 入院隨意
外科
小兒病
梅毒淋病

京城壽町三丁目
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

各地雜貨店及藥店ニ販賣ス

新荷着

花見御案内

寶六庵

電話貳壹四番

京城新報

今後の東洋拓殖會社

（東拓法及定欵の改正）

昨東電の報ずる所によれば政府の提出に係る東洋拓殖株式會社法改正案は、其弊を通じて、之れ東拓無辜の責を負はしめざるべからざるの事なり。東拓創立以來日未だ浅くして思慮に欠ること多く、其の事業の成績は、一般公衆の喜ぶところ、六千株主の喜ぶところ、而して日韓公衆一般の喜ぶところである。

諸看板製作　油繪肖像畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大勉強請負　永楽町二丁目　赤門通り　椹野工舎

朝鮮の風習（二）

▼珍妙の事許り

配偶者双方の親達が婚姻契約を締結する時は、男子の父たるサラミは女子の父たるサラミに對し紅の色紙に書いたる手紙を送る、其書狀には先づ自分の住所姓名を記し、此に相手方の健康を問ひ、婚姻の成立を祈るの誠意を表し最後に自分には子息何人、内何人は結婚し又は未婚者なること等々記して送るのだ、之れに對して女子の父より回答あれば即ち承諾をしたものと極つて了ふ、夫れから儀式挙行の當日良辰吉日撰定する段取りになる、此處で例の巫覡ト筮が面を出す、意々其日が決定れば、挙式の飲日前服飾及婚物を女子に贈り、女子は自らこれを裁縫して男子に送る、婚礼は式日に之れを着て、花嫁の家へ押懸けるそして其處に待受けたる花嫁の親戚と婿殿と送りの者との間に歓闘を演ずる、昔は其歓闘から死者を出したといふ物騒な噂もある、處で花嫁は什麼ことには頓着なく自ら背の君より贈られたる結納の布を以て衣服を裁縫して着飾り、極親しき友達の中で見るから羅相なのを撰びで髪を取上げて貰ひ櫛挿し込むで待受ける、歓闘なんど笑神に待長いことであらうナラ儀式の模様はといふと、室の一隅に高壇を設け出來る丈け美しく飾り立て、花嫁花婿を其壇の上に押上げて二人並べて坐らせる、併し二人は決して語を交すことは出來ぬ、うして女子は男を四拝し、双方の親々も亦互に四度低頭の禮を交換し、其處で紅青の糸を巻きたる酒杯を挙げて數回花嫁花婿に飲酒させる、これで式が丁りチョンガは一人前のオラミになる。

儀式が終ると今度は誓書を取換すことになる、其誓書は赤紙を用ひ双方之れに署名し、若し嫁御寮無筆とならば手を紙の上に載せて其形を取る、そして其誓書を雨つに切つて夫婦とも其半片を大切に保存するのだ、結婚は之れで濟ひだが然らば離婚は何うかといふに昔は夫からならば離婚することも出來たが、妻には其自由は無かつたものだ處が近來妻の方からの發意で離婚するのもあるさうな、ヨボが油斷して居る間に女權擴張をやつたと見へる。

寡婦と再婚

寡婦は近來迄は絶對に再婚を禁せられて終身喪に服することになつて居た、夫れで行ひ堅固に身を終つたら貞女と

朝鮮人と蓄妾

ヨボは財産に少しの餘裕があれば妾を蓄ふ、一人や二人斗りで無いものもあるのである、其の妾となる女は貧家の女子を買取るのである、政府は昔から蓄妾には制裁を加へ無かつたが、法令を發布して庶出の子は三級若くは五六級以上の官職に登るを得せしめざることゝしたことがある、併し超然慮の如き右夫人左夫人の出は云ふ迄も無く別だらう

暴徒首魁の取調

▽容易に事實を白狀せず

去る十三日抱川郡青松面に於て積城分遣所の手に擒はれたる明治四十年以來の暴徒の首魁

權重高、高在植

の二名は二十一日京城憲兵分隊へ護送し來り同隊に於て目下取調中なるが權重高は聞しに優る學者にして風采堂々たるものあり容易に事實を白狀せざる由なり

慘酷なる一葉亭（二）

元は公主領にて……憲兵伍長……清人を脅迫して退清命令……

偖らして大連に送護せられた弘津芳太郎は同所から汽船に乘込んで一旦は日本内地へ引揚げたのである、聞つて此の時既に滿洲での淫ちゃん稼業から足を洗つてエヘン憲兵さんの噂アでムいと高くもない鼻をヒコ付かせて居つた事で、だから弘津が退清と同時に夫れでも飽くまで愛憎を盡かさず國行同船の歸國となつて國元へ着後内地の摸樣を伺つて見たが元より滿韓三界の雲行と比較にならう筈はなく茲で夫婦相談の上一つ朝鮮で料理屋なりと始めて見やうと談合一決偖て夫婦のみか一足先きにと渡來する事になつた、抑も此の高田みかの生れ古郷と云ふは滋賀縣栗太郡大室村大字野尻三十五番戸高田廣吉の長女喜年三十一才の女であるが此の滿韓へ渡來以後は女性專門の武器を遺憾なく振り廻して誤商賣中最後の牙に引懸りしが右の弘津であつたので既に再び渡韓後も明治町の某料理店へ酌婦として入り込み

海樓へ仲居として入り込んで突き放した後龍山の北

蛍んに男の生血を絞つて淫を鬻ぐ内偶々其の毒牙に見込まれし男と云ふは某銀行の行員で遂にはみかの口車に載せられ立派に借金拵つてみかを引取り圍ひ者としたのである、併し此の女が是れ位の事に落附き相な筈はなく好い加減の頃を見計かつて旦那樣を突き放した後龍山の北の弘津が漸く渡來時機も熟したと云ふので兩人の持合金を出し合せ不足の處は衣類雑品を入質して始めて二葉亭なる飲食店を開業したのは今の二葉よりは五六軒南の汚れかゝつた温突であつた時は一昨々年即ち四十年の十一月なので……是れからが元新町の魂膽となる、

松榮樓の娼妓小万

仕替一件

魂膽

●十圓紙幣から喧嘩

▽賭博の果ての紛失沙汰

大分賊生れ當時若草町一丁目左官職姫野清太郎（三）同賊當時大和町二丁目住大工畔津定四郎同じく大分生れの明治町住假冶職安達久太郎の三名は二十二日夜安達宅にて三人車座となつて賭博に夜を明せしが勝敗も濟んで其の朝姫野清太郎の立歸りし跡にて十圓紙幣一枚紛失し居たる事を見出し乾度姫野の所爲ならんとの疑念より畔津安達の兩人は直後跡追つ駆けて姫野宅に押掛け十圓紙幣の返判を始めたる處姫野に於ては以ての外と逆樣に兩人へ食つて懸れば互に云ひ募りし果ては面倒と許り姫野は立上りて傍に置きあり刺身庖丁を取るより早く畔津見蔑けて切掛けし騒ぎに巡査田張彼の者は和田病院に收容姫野、安達の兩人は本署へ引致目下取調中との事なるが彼者畔津の負傷は大した事には非らで耳元より喉に懸りし者と防禦の際手指に傷きし位

●農牛の炭疽熱

仁川多所面松林、李永根飼養の農牛一昨日斃死の旨届出でに接し仁川署より矢野獣醫出張檢診したるに全く炭疽熱にて斃死せしものと判明せしかば規定に基き嚴重なる消毒を施し屍体は燒却したりと

●頓と譯解らず

南山町四丁目菓子商江川吉太郎長男江川菊一（六）は二十二日夜同家店員小橋菊藏なる者と同室にて毒座を見物に赴きしが一時が二時となつても歸り來らざるより同家中遠も月枝、濱次、駒龍なんぞの頭株が

中堂午前六時半頃菊一は菊藏に連れられ壽町二丁目を通行し居たる之を同家の知人が認め直樣菊一は連れ歸りたるが店員菊藏は其儘逃走して行衛不明となれる由他分歸宅せば主家の叱責を恐れての事ならんも菊一の云ふ處に依れば前夜は戒る空家に泊りたりとの事なれど何の爲めやら頓と解らず

●殊勝なる寄附者

龍山鎮守宜川會舎第五七ノ二笠井彌基氏は先頃花の蕾なる四女愛子をば病魔の爲めに失はれしが去二十二日金五十圓に左の書狀を添へ同女が在學せし龍山小學校に寄附したりと

四女愛子（六）儀罹て貴校に在學在籍候處本月一日病死館候に就て辱知醫氏より贈賜に付其答禮に代へ厚志を永遠に紀し度前記金を貴校基金中へ寄附致候間受納被下度候也

●掏摸？

若草町二丁目十八番戸岩見方住の藝本健次郎と云ふは二十二日午後九時頃本町六丁目林號貸所にて貸所を見物中一婦人の袂を掘り財物を氣注ぎ引捕へて其の筋へ屆け出でたるが此の婦人は西都西門内住金鍵安（二）と云ふ若藏なりと

●迷子

若草町一丁目煙草職源次郎長女尾崎トキ（三）と云ふは二十二日午後四時三十分頃侯城臺交番附近を泣き叫びつゝ彷徨ひ居たりしに方同所の巡査交番に連れ來り保護其の親元を捜索中同女の實母なる者尋ね來りしかば之れに引渡したりと

目と耳

▲壽座　大入日延べとなりし同座本晩の替り狂言は左の如し

第一番地御祝儀賞の入船（一場）第二番目憚りの女房（三場）第三番目御好みに依り鳥の葉（二場）第四番目芝居奥樣（三場）大切大花火大仕掛狂乱舞々（三場）

●京城座　同座本晩の出し物は「二人狂」の通しにして其の役割は刑事川口一（伊井）車夫留吉（花井）刑事山形（千葉）暴民長渡邊金吾（田中）雇田明（桂木）雇田しづ子（田中）辨護士君月保（高山）牛潤虎雄（高島）支那人李交遷（上田）巡査木村二郎（潮）ピヤホール仲居（八島）娼妓ポテツル（秋岡）町田妹むめ事袖浦（三好）大田鎌造（美崎）錦織清（瀬川）

▲仁川歌舞伎座　伊東文夫の同座本晩の替り狂言は一番目「紀念の軍刀」人場三番目「走馬燈」の四場なりと

▲春爛煖の肌心地可き折柄とて當地新町の賑ひも中々に中にも大桝屋の銀蝶、貞子、富子等の姐さん等は若手妓を引立てても他樓に劣なの大活動にて商賣頗る繁盛んの由なり▲遠藤弔には何時も賑ひ居たりしと云ふ▲新町遊廓中で最も室内の不潔なのは玉家で壁は落ち畳は破れたと云ふ有樣で空家で戸に蜘る樣な心地がすると行て見た人の物語り（廓雀）

▲平民文庫▲

▲僕は廿一日龍山の狹い所で出會頭に二頭馬車人力車の棒が馬の腹を擦つたかと思つた位であつたから危機如何に一駆の間にあつたかゝ判るでわらう狹い加へも曲り角を馬丁の先き觸れもなく二頭馬車を走らせる所は甚だ以て不都合と思ふ龍山署に取締方と希望致します風聞子▲昨夜些細なる事より妻と口論の結果腹立ち紛れに五十錢貨一個を懐中なし蓼座會我の家運の喜劇を見たが實に滑稽にして非常な愉快を感じ何時か怒りも消え失せた腦病患者や神經質の者どもは須らく毎夜見に行く可しだ僕の言ふことに嘘はない（一官吏）▲廿三日の京城日報三面欄に京城の刀主界なる戰慄すべき一文を見た而して此の無責任なる醫師の名が書いてあるのは日報子の慈悲かも知れぬが却つて慈悲でない依つて自分は自分の聞き得た所を諸君に知らせる即ち其醫師と云ふは佐藤某だ（通報子）▲太平町二葉亭の梅子は病氣にも罹つて居ることだから何うか少し優待して行つたら善しからうに夫れに隨分稼いだから借金は樣に引いて行ればよいに（駆樂客）▲隨分虫がれ〻しくつて居らつしやるのねえ（小僧）▲三月十五日發行の法政新聞第十號に香阪れい子と踊れとして此の方が野中某の手を以て商利貸しを營んで居ると云ふことが

▲支局移轉▲

本社龍山支局を若松町二丁目二番戸へ移轉す

龍山支局長　長野直彦
同營業主任　狭和正

▲支局移轉▲

南山に遊んで歸つて晩飯の膳に對して居る如月會の二春庵宗匠から電話で開零するから南大門外の林氏の宅迄出張しろとある▲少なからず酩酊してのだから止せば善かつたとは隨で氣の付いたことで當時は一切夢中のヨシ來と出向く其所でも又酒を御馳走になる▲既にして座に堪ねられなくなつたので無斷退却と洒ガラリと引き明けて出口と思ふて踏み込んだのは押入れ▲今にして之れを想ふ冷汗の背に洽きを覺ゆる▲併し僕が惡いのではない酒の爲だ（風聞子）▲然らば酒を禁めなさい（小僧）

吉凶饒

本町五丁目　三一館料斷

三月廿四日書二月十三日●白左引戌于納社日△一白　舞踏陳腐多し貸借保證事圓還損害あり新事見合の事△二黑不如意なり新事及變更の事凶戰判相饒依頼効なし△三碧　入學門旅行命名披露吉伺改革整理の事吉△四綠　顧榮の日なり大抵吉過失により什器を毀損の恐れあり△五黃　不振なり新事見合の事紛失盜難防ぐべし△六白　快欣の日なり但し爭論葛藤起り易し△七赤　會心の日なるも家族從者の事注意すべし△八白　齟齬多し盜賊遺失防ぐべし△九紫　不得要領に了らん新事見合の事農林の業に吉

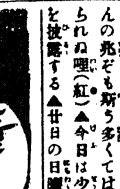
●食糧品羅市初相場

南大門　食糧品羅市場報

廿三日（出來高二百八十五圓六十錢）

本蜜柑	四箱	芋十貫	二、〇〇〇
蜜柑	石油入	同	二、八〇〇
中平箱	大里	芋	二、二〇〇
夏蜜柑	大根	漬物	二、二〇〇
中箱	同	地	二、八〇〇
中上	昆布	同	二、五〇〇
上	同	同	二、四〇〇
中	煎子	同	二、二〇〇
下	同	同	二、〇〇〇
下	瓜	同	一、九〇〇
中	胡	同	一、八〇〇
上	奈良漬	同	一、七〇〇
中	姜	同	一、六〇〇
上	蜜	同	一、五〇〇
中	生	同	一、四〇〇
上	蜜	同	一、三〇〇
中	一箱	同	一、二〇〇
連根	百束	同	一、〇〇〇

廣告



謝失火御見舞
御料理　京城青葉町　波

謝近火御見舞
御料理　京城青葉町　遊樂樓

謝近火御見舞
御料理　京城青葉町　笑樂亭

謝近火御見舞
日進樓　京城青葉町　橋本龜吉

謝近火御見舞
御料理　京城青葉町　堺亭

謝失火御見舞
御料理　京城青葉町　一樂樓　永尾利吉

謝近火御見舞
御料理　京城青葉町　遊樂樓

謝近火御見舞
御料理　京城青葉町　笑樂亭

謝近火御見舞
日進樓　京城青葉町　橋本龜吉

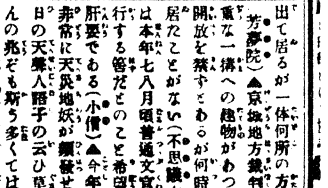
謝近火御見舞
御料理　京城青葉町　堺亭

近火の節は早速御駆付御見舞被下難有奉深謝候一々參堂御禮可申述候得共乍略儀以紙上御厚禮申述候　京城青葉町

開業廣告

弊店儀從來の委托品賣買業二部に分ち左の通り取扱ひ迅速確實公平なる報場を以て賣買仕り候條倍舊の御引立奉願上候也尚本報場の出來直段は時々新聞紙上に掲載可仕候

農作物野菜　乾物乾魚鹽魚　京城南大門通り二丁目
果實漬物類　其他食糧品一切　郵便貯金振替口座二五五（電話四九九番）（電信名略一ナ）
穀物、果物委托販賣部　中村義信商會



日本の
一大賣藥

代理店　京城南大門通三丁目　新井藥房　電話九百四番　千六十八番　振替口座韓國十六番

入院
龍山新市街山下町
內科小兒科眼科　原醫院

春寒尚料峭之候益御清康奉賀上候陳者弊社釀造麥酒の儀各位の御愛顧により逐年販賣高增加仕り難有仕合に奉存候就ては各位の御便利を圖り今般左記の出張員詰所を設置し販賣事務取扱致候間倍舊御愛顧御引立の程奉希上候

明治四十三年三月　京城御成町五十四番戸（南大門外）

サツポロビール　アサヒ　清涼飲料シトロン
大日本麥酒株式會社出張員詰所（電話二四六番）

廣告

民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は悉切依頼に應ず貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴訟事件

右は迅速確實に依頼者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ

京城旭町二丁目百四十五番戸
堤重四郎法律事務所

(國三郵便物認可) 明治四十三年三月廿四日 第三種郵便物 (水曜日) 第三百六十六號

京城輔翼新報

▲無料紹介欄▼

人事部

●被服度 三十四歳貴物取扱及通關手續に熟練あり多少英語と解す會社又は商店雇員術を望む 氏名在社(一〇)

●農國 野來願 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

物件部

●貸家 平家一戸建間數四間及長家一棟間數三間場所南大門外吉野町

●売家 平家 建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ

廣告

弦齋流割烹並に歌舞伎辨當 材料の豊富と技倆の熟練は割烹界に於ける辨店の特色に有之候 京城南山町一丁目 **をは孫** (電話一五〇二番) 出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可為申候

最新療治 マッサージ治療 (並に電氣療法) ◎主治疾患 腦神經衰弱、胃腸諸病、神經痛、關節諸病、産婦人科諸病、うちみ、くじき、りうまちす 其他醫藥効なき頑固廢疾を治療す 京城太平町二丁目大漢門通光化門寄 長瀬軍醫監東京仁醫病院マッサージー部 **京城出張所** 助産の需に應ず産婆荒川元子

京城鐘路の喰物は何んだろー 裁判所前の洋食店 **鐘路軒の松茸めしさ** 酒一本外和洋料理五品付 一人前六十錢 價が安くてうまくてはらニたまるよ 皆さん一度たべてごらんなさい 又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる 便利です よ 電話壹四二九番 客用有ます ◎重獄辨當の差入も引受ます◎

●●●滋養と牛乳●●● 馬車純良 **牛乳** 京城東四軒町 **岡野牧場** 電話壹〇六九番 **●●●衛生と消毒●●●** 配達

胃腸新藥 タカヂアスターゼ 韓國總代理店 仁川本町二丁目電話八五〇番 竹田津三平

美術半襟帶締其他紐類各種 京城明治町一丁 電話一千四百〇九 **ふり徳商店**

名し道樂 開業御披露 鯛 松たけめし 一人前三十錢 あなご 竹の子めし 鶏 ゐんぎうめし たなしく たなしく

なくて七癖と申しますから隨分色々の道樂もありますが就中めし道樂はどざいなぜん、此道樂を發揮せん爲め、わざ〳〵大阪表からわり鮨の美人を呼びよせ釜のまゝ御座敷の眞中に持選び御客樣の御嗜好に任せ按排加減と程好くして差上ます何卒御賞味かた〳〵御來遊の程ひとへに願入申ます尚多少によらず出前も御便利に迅速に届け仕りますから御用命の程御願申上ます

大和町三丁目 梅の家眞向ひ **明月** 電話七三五

紙と印刷 諸官衙御用 和洋帳簿 印刷 諸紙 **諸官衙御用 播本商店** 京城本町六丁目 電話百拾番 各種製本

諸荒物世帶道具一切 其他和洋蠟燭 アサヒビール 精白米 右大勉強仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候 京城本町六丁目 日用雑貨 **卸問屋 西崎嘉七本店** 電話二一〇番 振替貯金口座韓七番

京城南山町(元日本人倶樂部前) 京城ホテル 長電話 電話 一二三番 四九二番

きゝめのある 温泉湯 此の溫泉は左の如き病に最も妙なり 一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りん よこぬ、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん 膽胃加答兒、凍傷、がんがき、其他内用には鐵冷溫泉を用すれば尤も効能あり **貸席 鐵冷溫泉** 京城本町一丁目郵便局前 電話千四百十一番

綿わた綿ワタ ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類 卸問屋 **唐川商店** 京城明治町一丁目四ッ角 電話二六一

生徒多年在 京都帝國醫科大學耳鼻咽喉科教室 **和辻博士** 耳鼻咽喉氣管科診療從事致し候 診療時間 旭町 午前九時至午後七時迄 (日月旅館上) **石田耳鼻咽喉氣管科醫院** 前漢城病院耳鼻咽喉科部長 **石田誠** 京都醫科大學 **醫學博士 和辻春次** 今般石田誠君貴地に於て開業致候間小生同樣御眷顧被下度候

營業科目 韓官衙御用品調達 和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 **委託販賣** 京城ランバーグ商會代理店 京城中外アニュアアルト株式會社代理店 京城千代田生命保險相互會社代理店 **藤田合名會社** 京城博文館發行書籍特約店 京城金港堂發行書籍特約店 釜山喜鹽合資會社食鹽特約 **本社** 京城明治町二丁目(電話二〇三番) **出張所** 東京十番地 京橋南鍋町一丁目 新橋電話六三番 目黒二九

移轉御披露 御蔭樣にて日增しに繁昌にともむき從來の店にては手狹を相感じ候に付同町六十九番戸(從來の店より三軒上る金澤旅館へ入角)へ移轉し一層大勉強仕候間倍舊御引立の程奉希上候 京城明治町一丁目 はたのや事石田精肉店改

牛肉卸小賣 商號變更 石田兄弟商會 電話千四十二番

東京足袋 正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升 本店東京 京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋 **藤井出張店** 明治町勸商場内ニモ出張店アリ 電話二百〇五番

京城大和町一丁目 大和商會 熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス) 京城旭町一丁目六十七番戸 **辯護士 岡田榮** (電話三九八番)

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 電話三五四番 京城明治町二丁目(佛國教會前)

大上商店 特約販賣 味噌醬油製造元 漬物問屋 京城本町五丁目 (電話二五一番) 自製酢、穀物類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糖、鰹節、塩辛、日本製食鹽各種特約販賣 御御望に依り商品切手調進仕候

齒科治療 ドクトル **中村安子** 本町六丁目 (鰕そば横町)電話一五八三番

龍山居留民團囑托 龍山醫院 院主 瀧澤喜太郎 龍山榮町(文平山麓)

本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依頼し各科の診療に從事す入院の需めに應す

外科花柳病科 診療時間午前九時より正午に至る 前漢城病院長 ドクトルメヂチーチ **和田八千穗** 前仁川病院長 醫學士 **松村三省**

內科小兒科 自午前九時至正午 東京醫科大學 醫學士 **瀧澤喜太郎**

眼科 同 **內科** 自午後一時至四時 東京醫科大學 運科卒業 院主 **赤羽學** 醫學得業士

耳鼻咽喉科 同 自午後一時至四時(但し毎月四回一日五日十五日廿五日) 醫學得業士 **天ケ瀬健六**

婦人科 同自午後一時至四時 龍山榮町(文平山麓)

京城大和町一丁目 大和商會 明治廿年七月創立 資本金一千萬圓 ● 京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番 ● 事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

東京海上運送保險株式會社 京城本町二丁目十五番地 電話五十八番

★株式會社百三十銀行 韓國 京城本町二丁目十五番地 電話五十八番 **資本金五百萬圓** 頭取 安田善三郎

爲替取組先 畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、天王寺、下市 東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、飯田、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七戸、高崎 北陸道 小浜、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、宮津、舞鶴、新潟、豐岡、鳥取 山陰道 米子、濱田、松江、八幡、大田 山陽道 玉島、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、岩見、岡山、新宮、和歌山、高知、姫路、西大寺、笠岡、高梁、岩國、山口、柳井、尾の道、三原